

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

教科： 人間と社会 科目： 人間と社会
対象学年：第 3 学年 コース
使用教科書： （ 人間と社会（東京都教育委員会））
教科 人間と社会 の目標：

価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して道徳性を養い、判断基準（価値観）を高めることで、社会的現実と照らし合わせながら、よりよい生き方を主体的に選択、行動する力を育成する。

科目 人間と社会 の教育内容：

座学での演習（導入、単元の基本的内容に関する学習、判断・基準を高める学習、人生における諸場面を想定した選択・行動する力を育成する学習、まとめ）及び体験活動の事前学習、体験活動、事後指導。

	テーマ	本章で考えること	配当 時数
1 学 期	- 人間関係を築く - 学ぶことの意義 - 働くことの意義 - 役割と責任 - マナーとルール - スマートフォン時代のコミュニケーション - 選択し、行動する - チームを動かす力 - ワーク・ライフ・バランス	- 何を大切にして、どのように生き、そして、どのようにして幸せな世の中にしていくのかについて。 - 人間関係を築くことは、どのような意味があるのかについて。 - なぜ、私たちは学ぶのかについて。 - 働くことは、本当に社会に貢献することにつながっているのか。 - なぜ「役割と責任」を果たすのか。 - 私たちの社会にマナーやルールは、なぜ必要なのか。 - スマートフォンと共に生きる現代において必要とされるものとは、何か。 - よりよい選択をし、行動するためには、どうすればよいのか。 - チームで活動するときには、どのような力が必要でしょうか。 - 自分が理想とするワーク・ライフ・バランスを実現するには、どうしたらよいのか。	12
2 学 期	- お金の意義 - 消費者市民社会 - 支えあう社会 - 地域社会を築く - 自然と人間の関わり - 科学技術と生命倫理 - 文化の多様性 - グローバル化が進展する社会 - 国民平和を築く - 主催者・成年としての権利と責務	- お金はどのような意義をもつのか。 - 社会や環境などに配慮した消費とは、どのようなものなのか。 - なぜ、人は助け合い、支え合うのか。 - 地域社会は、誰が何のために、築くのか。 「自然と上手に関わって生きる」とは、どういうことなのか。 「科学技術の進歩」の中で、「いのちの問題」をどう考えればよいのか。 - 世界に様々な文化があることは、私たちに何をもたらすのか。 - グローバル化が進展する社会の中で、何を大切にして生きていけばよいのか。 - 対立から国際平和を考える上で、大切なことは何か。 - 国を動かす主権をもち、成年になるということは、我々にとって、どういうことなのか。	12
3 学 期	- 体験活動 事前指導 - 体験活動 （企業連携型インターンシップ） - 体験活動 事後指導	「学ぶことの意義」「働くことの意義」についてのグループ討論 - 各連携先で、体験実習を行う。 - 意見交換や討論・発表会を実施する。 - 体験活動発表を行う。	11
			合計
			35